

ウィーン国立音楽大学の教員による ヴァイオリンコンサート

アンドレア・ポッタキーニ国際ヴァイオリン
コンクール優勝者 アンナ・グトヴスカ



日時 2023.11/18 (土)
開場14:00 開演14:30
場所 やかげ文化センター

会員チケット1500円 会員小中高校生チケット500円

一般チケット2000円 一般小中高校生チケット1000円

主催 矢掛町音楽協会

チケットの購入は やかげ文化センター

yakageonkyo@gmail.com 0866-82-2100

会員申し込みは やかげ文化センターにて受付

ご 案 内

この度、矢掛町音楽協会ではウィーン国立音楽大学の先生方を招聘して、本格的なヴァイオリンのデュオコンサートを企画いたしました。ヴァイオリンのアンナ・グトヴスカさんはポーランド人で、現在ウィーン国立音楽大学の講師を務めるほか世界各地のコンクールやコンサートで大好評を得ている有名なヴァイオリン奏者です。ピアニストの森美加さんはウィーン国立音楽大学の伴奏専任講師として昨年の定年まで後進の指導に当たってこられたピアノ奏者です。現在もウィーンを中心に世界各地で演奏されています。今回も超一流奏者の奏でるヴァイオリンの音色と、やかげ文化センターの所有するドイツのハンブルグ製スタインウェイの最高峰である D274 のピアノの音色をご堪能ください。

Anna Gutowska (Violin) アンナ・グトヴスカ (ヴァイオリン)

アンドレア・ポッタキーニ国際バイオリンコンクール優勝など数々の国際バイオリンコンクールで優勝し、世界的の最高峰オーケストラであるベルリン・フィルハーモニーをはじめ、ウィーン楽友協会、ウィーンコンチェルトハウス、上海シンフォニーホール、ローザンヌ・メトロポール劇場、北京国家大劇院、中国広州オペラハウス等でソリストとして活躍している。室内楽奏者としてもアメリカ、ポーランド、イラン、オーストリア、イタリア、フランス、チリ、メキシコ、ドイツ、スイス、中国、日本、ジョージア、チェチェン、ポルトガルなど、各国のフェスティバルに招待され演奏している。2016 年よりウィーン国立音楽大学講師。主に青少年タレントコース及び演奏学部弦楽器ヴァイオリン予備科の生徒を指導。ポーランド、クウェート、ジョージア、オーストリア、イラン、メキシコ、チリ、中国、日本、スロバキア、イタリア、などで講習会を精力的に行い、数多くの音楽コンクールの審査員を務めている。

森 美加(ピアノ)Mika Mori

東京芸術大学附属音楽高校を経て、同大学卒業。その後ウィーン国立音楽大学にてハインツ・メディモレック教授に師事。教授全員一致の最優秀にて卒業。在学中より数々のコンサートに出演し、カーネギー・リサイタルホール、ウィーン・コンツェルトハウス、楽友協会ブラームスザール、東京文化会館等、内外著名ホールにてリサイタル及び、室内楽演奏会を精力的に行なう。1989 年より、草津国際音楽アカデミー& フェスティバルに出演。数多くの著名なソリストと共演し、常に好評を得ている。室内楽の分野にて活発に活動。CD 録音も多数行なっている。また 2022 年 10 月にウィーン国立音楽大学を定年退職後もフリーで演奏を続け、コンサート、各音楽セミナー及びコンクール、ウィーン国立音楽大学で伴奏者として活発に活動している。

長谷川 悟(コントラバス) Satori Hasegawa

国立音楽大学で N 響首席の中博昭氏に師事、卒業後、ウィーン国立音楽大学にて元、ウィーン・フィル首席のルードビッヒ・シュトライヒャー教授に師事。東京・ウィーン在学中から日本全国のプロオケや、ウィーンの各楽団や室内合奏団に客演して活躍する一方、ウィーンで 2 回、ベルリン、ブルガリア各都市でコントラバスリサイタル。南ドイツ各都市、スロバキア、ハワイや西日本各地で指揮。世界的巨匠達と室内楽で共演をし、内外の国際音楽祭にも招かれ好評を博した。また、仏教と西洋音楽の融合をライフワークに「仏教聖歌集」、楽劇「教信沙彌の生涯」、管弦楽と読経の為の「般若心経」などを作曲し、世界初演の指揮や自作自演の公演をしてきた。現在、父親の跡を継ぎ兵庫県加古川市の念仏山教信寺山主であり法泉院の住職をしている。